

## マーケットの動き (2024年7月8日～7月12日)

先週の米国株式市場は、前週末比で上昇しました。

週前半は米半導体大手などハイテク株の上昇が目立ち、ハイテク株比率の高いナスダック総合指数は7月1日から7日連続で最高値を更新しました。その後、ハイテク株には持ち高調整の売りが出ましたが、6月の米国CPI（消費者物価指数）の下振れなどからFRB（米国連邦準備制度理事会）による利下げ観測が強まり、景気敏感株や中小型株などにも買いが広がりました。

## 投資環境見通し (2024年7月)

## 外国株式相場は、米国、欧州ともに底堅く推移

企業業績については、景気減速の兆しがみられながらも堅調な個人消費に支えられ、引き続き底堅さを維持するとみています。米国株式相場は、景気が軟着陸するとの見方に加えてFRB（米国連邦準備制度理事会）による利下げ観測を背景に底堅く推移するとみています。欧州株式相場は、フランス総選挙を巡る政治的先行き不透明感が重しとみられますが、ECB（欧州中央銀行）による追加利下げ観測も根強く、米国市場に連れて底堅く推移するとみています。

	7月12日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	5,615.35	0.87%	3.58%	17.38%	25.56%
NYダウ	40,000.90	1.59%	3.33%	6.41%	16.46%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202407\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202407_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 米国株価指数の推移



## 主要国株価指数の推移



※2023年6月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成